



(社)いわふね青年会議所 広報紙

あらうみ

2005年

元旦号

2005.1.1



新年のご挨拶

直前理事長

太田 成巳

新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は(社)いわふね青年会議所の活動に多大なるご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。昨年は「深めようLOM(同志)の絆、踏み出そう目の前の一步を！」をスローガンに事業を展開し邁進できましたことは偏に地域の皆様、関係諸団体の皆様、先輩諸兄、そして共に苦勞と喜びを分かち合い活動してきたメンバーのお陰であると重ねて感謝申し上げます。

昨今、地球を取巻く環境の変化などさまざまな要因によって世界的に自然災害が多発し、県内においても7.13水害や中越地震などで甚大な被害を受けました。被災地の皆様には心よりお見舞いを申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、対外事業として6月26日に朝日村猿沢小学校の体育館にて同村の5、6年生を対象に「EDOゲーム」を実施いたしました。「EDOゲーム」とは江戸時代の生活に戻って、当時の人々が助け合いながら生活していた様子を体験していただくものです。参加した子どもたちには助け合う心の大切さを感じてもらえたものと思います。

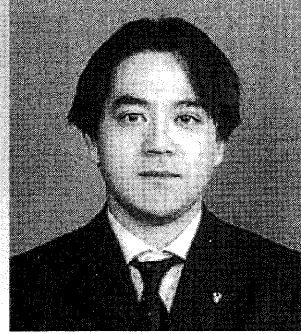
そして8月24日にはJCメンバーの企業を受け入れ企業として、高校生を対象とした「職場体験ツアー2004」を開催いたしました。企業の経営者に学び、就業体験等の社会体験を通して高校生に「生きる力」を育てていただきたいと願ひ実施いたしました。ご参加いただいた皆さんは、とても前向きで積極的な人ばかりで、一人の人間として世の中のために自分を活かすことの大切さを考えるきっかけになれば幸いです。

他には(社)上越青年会議所OBの櫻野先輩をお迎えして「タイムマネジメントセミナー」、岩船広域圏行政懇談会、朝日村公民館長の秦紳二氏をお迎えして特別講演会、JIN交流会、京都会議、村上市長佐藤順氏をお迎えして「これからのまちづくりについて」の講演会、株式会社ダスキン鈴木茂光氏をお迎えして「何故、経営理念が命か」の講演会など多くの方々からご協力を得て、事業をやらせて頂きました。

これらの事業を通して、一人ひとりが自らの価値と使命を理解し、明日への勇気を持つことが、次代への活力を生み出していく根源になると確信しています。我々の世代は、社会における責任世代であり、JCの使命は、此処にこそあると考えます。それぞれの地域に根ざした地域人であり、家庭人であり、企業人であります。混沌とした時代だからこそ、自分の愛する人のため、地域のために夢や希望を抱いた21世紀を現実のものとしていきたいと思ひます。

最後になりますが、この歴史ある(社)いわふね青年会議所の中で若輩者の私が理事長をさせて頂き、普通では経験できないような貴重な体験を数多くさせて頂きました。この経験は私の一生の宝物です。私を支えてくれた家族、会社、友人、OB諸先輩方、関係諸団体の皆様、地域の皆様にご感謝の気持ちで一杯です。

本年度は大滝理事長を始めとする「2005年度(社)いわふね青年会議所」に更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。



新年のご挨拶

2005年度理事長

大滝 哲也

新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は(社)いわふね青年会議所の事業活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(社)いわふね青年会議所はこれまでJC理念のもと、地域の方とともに数々の事業を行い、時代と共に変遷し今年で39年目を迎えることができました。これもひとえに地域の方々、行政をはじめとする関係諸団体、OB諸先輩のおかげであると感謝申し上げます。そして今、我々青年会議所メンバーは新世代といわれる昭和40年生まれ以降で構成される時代に入りました。ある意味で「JCの世代交代」の時期といえるのかもしれませんが。そのような中、(社)いわふね青年会議所は今、どこに立っていて、何をすべきなのかを見つめ直し、考え、行動していきたいと思ひます。

「明るい豊かな社会の実現」を目的とする青年会議所はこれまで、その目的を達成するために、「まちづくり」「ひとづくり」に重点をおいて行動し、地域の活性化に努力して参りました。そこで今まで熱志をもって行動してきた先輩諸兄の時代と我々の時代をみると現在の状況が何か物足りないような気がします。何か「生きる力」が足りないような混迷感を感じずにはいられません。しかし「景気が悪いから……」と一言で片付けてしまうのでは何の進歩も生まれません。今こそ、「何が何でもやってやるんだ」という強い意志で、この混沌とした時代を生き抜いていけるようメンバー一丸となって邁進する決意です。

ここ数年全国的にJCの会員数が減少傾向にあります。いわふねJCも例外ではありません。JCの会員拡大は組織の維持のためにはもちろんのこと、この地域の発展のためにも非常に大切なことです。この問題を解決するキーワードは「より魅力あるいわふねJC創り」にあると考えます。

より魅力あるJCであるために、今年度は、自己啓発研修(ひとづくり)に力を入れていきます。現在の我々を取り巻く状況は、バブル崩壊後の経営環境の悪化等により何か「生きる力」を失いかけているように思えます。しかし、企業が元気にならなければ、魅力あるJCはあり得ません。企業が元気になるためには、高い志を持ち、自分の会社が「この地域で輝くすばらしい企業」になることを目指さなければなりません。JCメンバーの企業が元気になれば、JCは魅力あるものとなり地域も元気になっていくと考えます。

またさらにより魅力あるJCであるために、地域に根ざした活動をしなければなりません。この地域でも、2000年4月から施行された地方分権一括法により、JCが提唱してきた地域主権が現実のものになるよう思っています。自分たちのまちは自分たちで創るという思いで行動し、JCの目的である「明るい豊かな社会の実現」に向け努力していきます。今はJC以外にも様々なNPOやまちづくり団体、また地域の活性化を目的とする有志の会がこの地域にもたくさんあります。今年度は他団体とコラボレートし、地域の方々との交流を通して、「できることから」「身近なところから」事業を展開し、地域貢献を目指します。

魅力あるJCは、多くの同じ志を持った仲間との出逢いの場や地域の方々との交流の場が存在します。今、我々が高い志を持って、より魅力あるJCづくりを行っていけば必ず会員も増えていき、いわふねJCが発展し、延いては地域の活性化につながるものと確信しております。

2005年度理事長として、先輩諸兄が築き引き継がれてきたJCスピリッツを胸に、変えてはならないものと変えなくてはならないものを見極め、「明るい豊かな社会の実現」のため、メンバーとともに力強く前進します。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

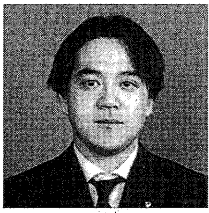
この地域をより活性化させるには

**「新世代まちづくり
フォーラムの開催」**

この地域の明るい未来は我々青年の手によって創りたいという思いからこの事業を企画いたしました。この地域は産業、観光、自然など素晴らしい資源を有してはいるが、長らく経済不況、少子高齢化等により、地域全体の活力を失いかけているように感じます。しかし、各地で住民の手による地域づくりの提言が行われ、この地域でもより良い地域づくりを目指して行動する方々がたくさんいらっしゃいます。

今年度はこの地域の同世代の方々と共に、この地域の将来像、あるべき姿、またこの地域をより活性化させるにはどうしたら良いかを考え、実践する出発点にしたいと思ひます。また、その集大成として、意見発表会を開催したいと思ひます。関係各位の皆様にはご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

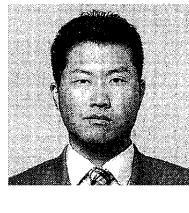
メンバー紹介



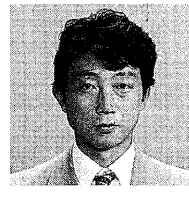
理事長
大滝 哲也
大滝自動車工業(株)



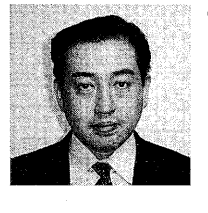
直前理事長
太田 成巳
(株)石光



専務理事
横井 賢
(株)新和開発



副理事長
鷲尾 辰弥
(株)鷲尾組



副理事長
渡辺 明
(株)わらわ



副理事長
田村 崇行
(株)シーオーエル



監事
鈴木 敏明
(株)山本組

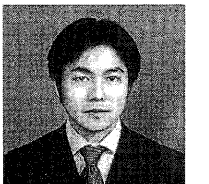


監事
貝沼 正己
(株)新和建設

事務局



事務局長 畑田 利巳
鮎友



事務局次長 佐藤 学
(株)フォト・スタンブ新潟

“企業が元気にならなければ、魅力あるJCはあり得ない” (社)いわふね青年会議所では、2005年度、自己啓発研修に力をいれて、志を同じくするメンバーが共に学び、共に成長し、企業経営リーダーとしてその資質向上に努め活動していきます。さらには、他団体と協力し、できることから、地域に根ざした活動を展開し、地域の活性化を目指します。本年度、事務局ではホームページの運営・活用、メーリングリストでの会員相互の連絡円滑化、ペーパーレスによる会議運営のスリム化、会のスムーズな運営のバックアップ、当会・各事業が効率よく運営されるように正確で迅速な事務・総務を念頭に置き、一年間事業に取り組んでまいります。



斎藤 直久
村上信用金庫



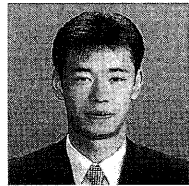
野尻 誠
山新林業(株)

会員拡大委員会



委員長 斎藤 彰
(株)ホテル汐美荘

LOMの会員拡大はなぜ必要なのでしょう？ 従来、次の事が指摘されてきました。『組織の維持』『運営固定費の確保』『事業展開のための人員確保』『事業費の確保』などがあります。いずれも誤りではありませんし、それぞれが重要な事でもあります。会員拡大というのは、このような必要性のためにやむを得ずに行う事なのでしょうか。ここ数年、経済環境が急激に変化していく為か、会員数が減少傾向にあることは否めないと思います。しかし、だからといって、LOMの会員数が減少していることを正当化してはいけなく考えます。このような状況の中でもLOM独自のノウハウやアイデアを活用し、更に会員拡大に取り組んでいきます。JC活動本来の目的でもある『明るい豊かな社会』を築き上げる為には、JCは「ひとつづくり」を行わなければなりません。「自立した市民による地域社会の創造」は、「人」を通してこそできるものと考えます。当委員会では、志を同じくする仲間(新入会員)を見出すとともに、会員拡大につながる事業を実施いたします。理事長基本方針の「新入会員15名以上目標」に向けて、LOMメンバー全員一致団結し、よりよい(社)いわふね青年会議所を目指し頑張りましょう。



副委員長 貝沼 栄司
貝沼総合保険



高橋 透
メガネの愛麗堂 村上店



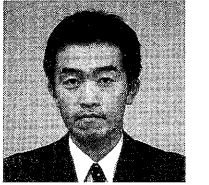
今井 伸一
(株)大進建設

まちづくり委員会



委員長 小野 力
(株)村上塗装工業

私は、この地域に少しでも役に立つ事がないかと思ひ、青年会議所に入会しました。子供達と助け合いの心を学んだり、行政の皆さんとこれからの地域について話し合ったり、いずれも、青年会議所に入らなければできない体験でした。我々が、今やるべき事は何か良く考え、行動したいと思います。そこで今年度は圏域内の同世代の関係各位の皆様へ御協力頂き、この地域は今後どうあるべきか考える事業を企画しております。この事業は、我々と同じ世代の人達と魅力ある地域づくりを考え共に行動するのが目的です。それにより新たな地域の良さを見い出だせればと思います。私達が住んでいるこの地域がもっと活気ある地域になる様に、子供達が将来夢を持って地域になる様に、がんばります。皆様、御協力を宜しくお願い致します。



副委員長 太田 勝行
太田製材所



小林 儀裕
共栄不動産(株)



渋谷 隆
(株)渋谷工務店

研修委員会



委員長 安藤 成
ホームサービスひまわり

昨今、身の回りのものの多くが合理化の名のもとに統合、淘汰されてきております。しかし、ただ古いとか効率が悪いとかいうだけで、本当は素晴らしい価値のあるもの、現代の人間にとって必要なものと一緒に排除されていることもあるのではないのでしょうか？ そんな今だからこそ本質を見極める感覚を養うべきだと思います。JCに入ったからこそ体験できること、聞く事ができる話には新しさや古さ、効率性や非効率性などでは計れない素晴らしい価値があります。ここでメンバーがより元気を出し、仕事や家庭、地域にその努力と成果をフィードバックすることで、私たちを取り巻く環境も更に向上するものと確信しています。そして人間を目指す研修を行います。先ず、これから地域を先導する企業人を元気にするための経営開発研修を行い、自分の仕事や会社を活性化させるきっかけを作ります。また生活の基盤である家庭や家族、そして地域にフィードバックできるように救急蘇生法の研修を行います。そして、まちづくり委員会とコラボレートして「地域づくり」「ひとつづくり」について総合的な講演会を計画しています。さらに元気ある人間づくりの一助となるように、研修委員会の事業の集大成として自己を啓発する研修を行います。魅力ある人間が、魅力ある地域、魅力ある仕事、魅力ある家庭をつくる。魅力ある人間をつくるための魅力ある研修を精力的に行って参ります。



副委員長 竹内 歩
(株)千波里



時田 康弘
時田陶器(株)



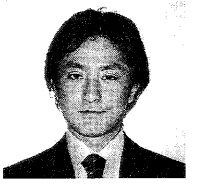
永田 強
(株)永徳酒販

会員交流委員会



委員長 高橋 聡
北越運送(株)

私たちJayceelsは、それぞれ違う環境に育ち、違う立場で仕事をし、違う考えを持った個人がJC理念の「ひとつづくり」「まちづくり」を目的に集っています。そのメンバー一人ひとりが、意見を出し合い、お互いを尊重しながら目的達成に向かって事業を行っています。その活動を成功へ導くには、個人力だけでは容易ではありません。メンバー同士の協力が必ず不可欠となります。また、諸先輩方・各会社・家庭の理解も必要と考えます。そして自分の周りとの【和】を大切にしながら、バランスの取れた関係を築く事こそ、JC活動の成功への道と考えます。また、他LOM、地域の方々や諸団体との【和】も大切に築く事により【結び】が生まれ【ひとつづくり】「まちづくり」を行うことができます。今年度は先に示した通り、【和】と【結】をテーマに、調和(尊重し合う)し融和(一つになる)することにより、結束(志を同じく)し結実(成果を得る)する事業の計画運営に取り組んで行きます。



副委員長 平岡 保智
(株)扇屋旅館



鈴木 洋司
鈴木建具製作所



土屋 孔秀
静雲荘

JC会員募集中

あなたもJCに入会して一緒に楽しみましょう!!

人が最も影響を受けるのは、新しい人との出会いだと思います。青年会議所は、そのチャンスをたくさん与えてくれる場です。

●青年会議所とは?

青年会議所とはその名の通り、委員会など会議を行い、それぞれの事業を行っています。その中から、様々な人の意見や考え方に触れることができ、そういった人とのふれあいの中から、自己の成長につなげていける事のできる大変有意義な会です。また理事長以下、すべての役員の任期は1年です。組織の中で様々な役職を経験することにより、自己研鑽を積み、その結果が個々の活動や自分の仕事に戻った時に役に立ちます。

- 事務局/村上商工会議所内事務局 岡田 TEL0254-53-4257
- 担当委員会/拡大委員会 斎藤 TEL.090-8853-0574